

ふれあい

平成20年 8月 第269号

大代地区コミュニティ推進協議会
(編集部)

事務局：大代地区公民館

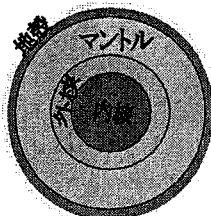
☎ 364-8442

〈掲載目次〉

- 岩手、宮城内陸地震・・・・・・・・・・ 1
- 物置を整理して・・・・・・・・・・ 3
- 多賀城市老人スポーツ
大会に参加して・・・・・・・・・・ 3
- 物置を整理して・・・・・・・・・・ 3
- 大代の歩み(五)・・・・・・・・・・ 3

- 訪問販売に注意・・・・・・・・・・ 4
- 大代地区
「流灯・花火大会」のご案内・・・・・・・・ 4
- 「おぼんです」開催について・・・・・・・・ 4

※今月号に投稿のあった、ふれあい「川柳」「短歌」「俳句」は紙面の関係上、次号以降に掲載させていただきます。



地球の構造は上図のようになっています。

これには土、未固結堆積物、固結岩などが含まれます。特に建造物の安

全性や安定性、環境保全を考えるうえで工事の対象となる部分、または工事の影響の及ぶ範囲を示すのが一般的です。したがって、地盤は場所によって異なり、土だけのこともあれば、岩だけのこともあります。この他、盛土、埋土、切土などの人工地盤、建設に不向きな土地を人工的に補強した改良地盤もあります。地盤の性質は様々で、ときに液状化、地盤沈下、斜面崩壊、地すべりなどの災害を起こすこともあります。これらは地盤災害と呼ばれています。斜面崩壊とは、傾斜

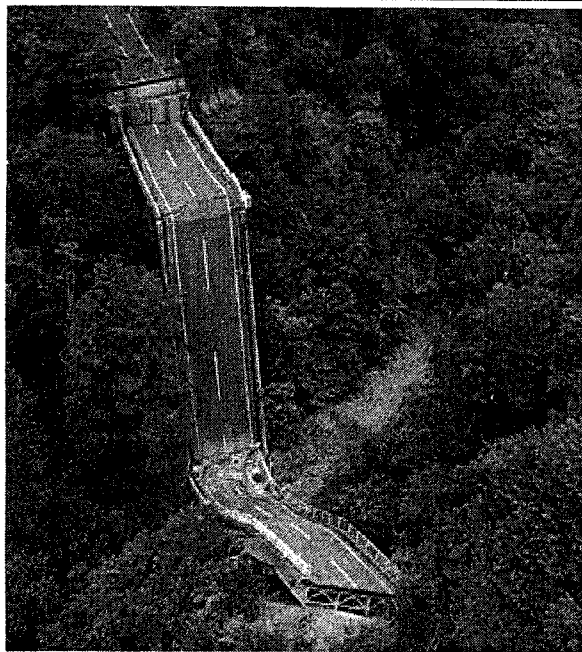
岩手、宮城内陸地震 大代北区 加藤渉
地震、地盤が震えることと訳するのがすっきりした表現だと思う。今まで体験した地震から、揺れる方向が縦(上下)と横(左右前後)の二通りのパターンに大別でき、どーん、と突き上げるような感じだった。大抵縦揺れの場合の表現、横揺れは、波状になり、船に乗っているような状態になります。地震の要因は地殻変動の大きいときに起きる。地球表面は地殻と云う地盤で出来ている表層地質のことです。

急斜面の崩落



地で発生する地すべりや崩落などを指します。また、斜面崩壊は同時に土石流や土砂流失を伴うことも多く、岩手、宮城内陸地震は、このようなパターンで起きた災害です。震源が八ヶ岳と非常に浅く、近い場所に、出店断層があった。引き金になったのは、この断層のずれによるものだと言われております。震度6強(M7.2)は、2005年の宮城県南部地震(M7.2)と同じでありました。30年前の1978年(昭和54年)6月12日に宮城県沖地震があり2003年5月の東北地震(宮城県沖関連)2003年7月に発生した宮城県北部地震2005年8月の宮城県南部地震5.6.7.8月に大きな地震が集中して起きています。今回の、岩手宮城内陸地震による建造物への被害は、多降雪地帯に配慮した屋根材が、鋼板葺きのため家屋の倒壊が少なかったといわれています。

被害の多くは、土砂災害、橋脚の陥没による落橋、山肌が崩れ、土石流となって下り、



堰き止め湖をつくり、道路の通行を遮断



します。土石流は、一瞬にして家屋を押し流し多くの犠牲者をだしました。



幸い火災がなかったのが不幸中の幸い、しかし罹災者には、長い年月を復興に向かって努力する課題だけを残していきます。地震は数分、心の傷跡が癒されるのはもつと長い年月が必要だと思えます。平均周期に七年と迫る宮城県沖地震、年読みの段階と心し、防災意識の高揚、それぞれの機関が開催する防災講義、地区が催す防災訓練に、積極的に参加し最小限の被害で済むように、家族での持ち場分担、救援を受けられるまでの必需品の常備地区にあつては、稼働可能な防災時の運営組織の確立、備品の定期点検、最も重要なのは災害弱者の把握と搬送時の要点把握も必要になります。過ぎた行為とはおもいません

史都多賀城を歩こう

大代北区町内会主催、史都多賀城散策の旅を開催、史都多賀城ボランティアガイドの屈指、吉川さんに太古の多賀城を案内していただきました。ちょうど岩手、宮城内陸地震の日でした。壺の碑と、政庁跡で正午、加瀬沼公園で昼食、以後事前に調べた文献をもとに、作貫地区、大畑地区、櫓跡をガイドなしで散策、古い多賀城に浸る機会を得ることが出来ました。史都多賀城ボランティアガイドは一人でも対応していただけるとのことでした。



多賀城市老人スポーツ

大会に参加して

大代東 佐藤 洋子

去る六月二十六日体育館において第三十六回老人スポーツ大会が行われました。当日参加人数七百九十名、そのうち、大代地区からは第一百寿会三十四名、第二百寿会十九名合計五十三名でした。

国歌斉唱で始まり、市長、市議会議長の挨拶と大会運営委員の大会宣言が終わり、競技を開始、六十代から九十代まで競技の内容もさまざまであくまでも老人向けに考へてあり、ほとんどの人が参加出来る内容のものでした。参加人数の少ない地区では三・四回出場していた様にも見えました。競技委員の人によると災害が起きた時でも、足腰を鍛えていればいち早く自分で行動に移すことが出来るとおっしゃっていました。大代地区の方で今年で二十六回参加していますよと私に声をかけて下さった方がいました。私もこの足が動く限り参加し、一に笑顔で皆さんと交流を楽しみたいと思っております。

会場には岩手宮城内陸地震の災害募金も受け付けており最後にその金額が発表されました。八万三千七百五十七円と聞き驚きました。会場に集まった皆さんの善意の助

けあいの精神がこのような結果に現れたのだと思います。当日は大会の為に尽力下さった大会実行委員、ボランティア、民生委員の方に厚く御礼申し上げます。当地域は、今回は地震の影響も受けずスポーツ大会に参加出来た事に改めて幸せを感じた一日でした。

物置を整理して

大代中 本郷 敏郎

我が家に、半分朽ち果てた物置があり、今年取り壊すことにしました。そこで中を整理したところ、色々なものが出てきました。そのうちの何点かを数回に分けて紹介したいと思います。

そのうちの一つは次のものです。

間もなく終戦記念日が来ます。昭和二十年八月十五日がその日です。その終戦日の二日前の八月十三日の河北新報です。終戦が近いとはいえ、内容を見るとまだ日本軍が他国と戦い、成果を挙げているとの記事内容です。そんな記事の中に次のようなことが目を引きました。昭和二十年八月初めに広島、長崎に落とされた原子爆弾のことです。広島、長崎の被害については一言も触れてはおりませんでした。その代わり別の記事の内容を見ると「新型爆弾に対する心得」と題し「これで食い止めよう、新型爆弾心得十六ヶ條」とあります。そのうち数ヶ條を記しますと、一、敵

の一機に対しても油断は禁物で敵の大型機が近接した時は一機と雖も待避せねばならぬ。

(中略) 十、落下傘のやうなのが降下するからこれを目撃したら確実に待避すること。

(中略) 十二、破壊された建物から火を發することがあるから初期防火に注意すること。

(中略) 十五、白い下着類は火傷を防ぐ為有効である。等、今の世の中では考えられない事が、記事としてありました。その他、食料問題のこと、国民の軍歌募集、鉄道の乗車券の発売中止のこと、等、様々な記事が目になります。

今回はこの新聞だけとしますが、その他明治、大正、昭和に渡り書籍、新聞、地図なども見つかりましたので、何回かに分けて投稿したいと思います。

なお、現物を見たい方、又、今回記した以外の所も読んでみたい方は、どうぞ私宅へおいで頂ければお見せしたいと思います(事前にご連絡下さい)。

大代の歩み(五)

大代南 渡邊 巖

大代村の舟場には「御番所」(藩の役所で御穀改所)があつて、米穀の密売買取締りと移出入を取扱っていたが、この番所の回りに住む人々が茶屋屋敷一六軒の人頭達であつ

た。おそらく外海から船入堀に出入りする船を漕いだり、各種の荷物の積み降ろしや運送に当たっていたと思われる。

前述した白魚・蜆・鰻・鰺の献上品は「茶屋敷（又は茶屋町）品替百姓」が番所の詰役の手を通して上納し、城下の原町代官所へ日ごとに運んで行き、城中の御日看として調理されることになっていた。つま

（茶屋敷の住人達は仙台中の藩主などの副食の一部を納入する義務を負っていたので、その役割によって諸役の納入を免除されていたのである。）

では当時、一般の大代村民は、大代のどの辺りに住んでいたのだろうか。

古地図によると、その頃の大代村内の道路は前述の様な状況で、現在の大代地区の経路と似通っていた。村民は生業によって多少の偏りは有っても大凡は道路沿いに住居を構え、幾つかの集落を形成していた。殊に「茶屋町」は家並みが町場風に並んでいたことを示していて、そこには酒屋二軒、菓子屋三軒など船で働く船頭や水主（かこ）などの休息の場があり、また穀問屋一軒、塩問屋一軒があった。そしてその小字名を元舟場・舟場といったように水陸を結ぶ物資流通の上で、小規模ながら港の形態をとった特色ある土地柄であった。

その中で財力の有る分限者は、自らの所在地を『屋敷』と名乗り、家業の規模に応じて本百姓（人頭）と借家に別れていたことは前述のとおりである。

これとは別に、大代村に関わりのあった武士達については次号に記す。 続く

訪問販売に注意

大代地区婦人防火クラブ 後藤 重子

火災警報器は設置しましたか？私達婦人防火クラブのお手伝いは一応終わりにしましたがなお不安の残る方はお近くのクラブ員にご相談下さい。

現在訪問販売による被害を二・三耳にしました。「消火器の詰替えに来ました」と言っ

て昨年購入したばかりの消火器の中身を交換していったとの事でした。消火器の中身は普通の風通しの良い所に置いた場合五年は維持出来ます。二年に一度当クラブで点検・中身交換・販売をお手伝いしています。どうぞ遠慮なさらずにお声がけ下さい。そして高額な料金を支払う事のない様お気をつけ下さい。

大代地区

「流灯花火大会」のご案内

大代五区区長会

皆様には、日頃大代地区行事に対しまして、ご理解ご協力を賜り心から厚くお礼申し上げます。

大代地区の伝統行事「流灯花火大会」を次のとおり開催いたします。この行事は、水難物故者のご供養、そして大代地域皆様の平安な生活を祈念し、慰霊祭として行うものです。皆様のご焼香を心よりお待ちしております。

ご先祖様のご供養と、納涼にご家族お揃いでご来場賜りますようご案内申し上げます。

（記）

一日時 平成二十年八月二十日（水）

午後六時 開会（雨天の場合翌日に順延）

二場所 大代橋本橋（慰霊祭壇は西側）

開会セレモニー 午後六時

慰霊祭 西園寺住職による奉経

午後六時三十分

奉納舞踊 曉流一二三会社中

午後六時四十五分

流灯・花火打ち上げ 午後七時

終了予定 午後八時

「おばんです」開催について

コミュニティ広報部

多賀城市長の菊地健次郎様による、市長が公約に掲げる市民参画の為の市長との直接対話が次のとおり行われることになりました。

日時／平成二十年八月二十二日（金）

午後七時より

場所／大代地区公民館二階会議室

対象／大代地区住民

多数の方々のご参加をお願いいたします。